

第1章 調査の趣旨と概要

調査の趣旨

教科書の質・量両面での充実が求められている中で、現行の教科書の体様等の実態や各発行者の取り組み事例をとりまとめ、その成果を各教科書発行者に普及啓発することにより、すべての子どもたちが学習しやすく、かつ使いやすい教科書作成の参考に資する。

調査の概要

1．対象

対象教科書としては、下記の分類とする。

小学校用教科書：国語，書写，社会，地図，算数，理科，生活，音楽，図画
工作，家庭，保健

中学校用教科書：国語，書写，社会(地理的分野)，社会(歴史的分野)，社会
(公民的分野)，地図，数学，理科(第一分野)，理科(第二
分野)，音楽(一般)，音楽(器楽合奏)，美術，保健体育，技
術・家庭(技術分野)，技術・家庭(家庭分野)，英語

2．調査研究の内容

以下に示した調査研究項目の実態について把握・分析を行う。

教科書の分量（全体ページ数）

教科書の紙質（重さ，使用紙質）

教科書の判型，分冊形態

全体ページ数に占めるカラー(色刷)の割合

文字の見やすさ（大きさ：フォント）

色覚特性など障害その他の特性に配慮した取り組み

3．調査研究方法

- (1) 上記調査研究項目について，対象教科書に関する実態の把握。
- (2) 上記(1)で把握した実態について，教科書協会内に組織される検定専門委員会により，分析・取りまとめを行う。
- (3) 上記(2)で，分析・取りまとめた成果を各教科書発行者に普及啓発することにより，すべての子どもたちが学習しやすく，かつ使いやすい教科書作成の参考に資する。

4．調査期間

平成 20 年 12 月 15 日～平成 21 年 3 月 31 日

5．調査方法

小中学校教科書発行者 19 社に対して，調査研究項目に対するアンケート調査を行い，すべての社から回答を得た。

アンケート発送日 平成 20 年 12 月 17 日

回収日 平成 21 年 1 月 25 日（最終）

第2章 調査結果

義務教育教科書，発行者と発行点数（表1）

平成21年度用義務教育教科書として発行されている点数¹は，小学校用293点，中学校用134点，合計427点である。発行者数は小学校用15社（実際は14社，大阪書籍が日本文教出版に著作権譲渡を行ったため，大阪書籍はすべて日本文教出版に読み替える。以下同じ），中学校用16社（実際は15社）である。

A 小学校用

すべての種目²を発行している会社は「東書」（以下略称を用いる，正式名称は79ページ参照）だけで，その発行点数は60点である。発行している総点数の多い順は「教出」（50点），「大書」（37点），「学図」（35点）と続く（「日文」は，「大書」37点を加えると51点となり，2番目に多い発行点数となる）。

1種目だけを発行している会社は，「教芸」（音楽），「帝国」（地図），「学研」（保健），「文教社」（保健），「光文」（保健）の5社である。

多くの会社が発行している種目としては，生活の9社³，算数，理科の各6社，国語，書写，社会⁴（次ページ），保健の各5社があげられる。

また，地図（「東書」，「帝国」）と家庭（「東書」，「開隆堂」）は各2社の発行となっている。

B 中学校用

すべての種目⁵（次ページ）を発行している会社はなく，「東書」が音楽（一般），音楽（器楽合奏），美術を除く種目を発行し，その発行点数は22点である。発行している総点数の多い順は「教出」（22点），「学図」（15点），「光村」（11点）と続く（「日文」は「大書」8点を加えると14点となり，4番目に多い発行点数となる）。

1 ここていう点数の「点」とは「冊」のことで，1点は教科書1冊のことである。

2 教科書の種類によって分けた項目を種目という。小学校用教科書目録に記載されている種目は，国語，書写，社会，地図，算数，理科，生活，音楽，図画工作，家庭，保健の11種目である。

3 実際は8社，「日文」が2種類発行。

1 種目だけを発行している会社は、「学研」(保健体育)1社だけである。

多くの会社が発行している種目としては、社会(歴史的分野)、社会(公民的分野)の各 8 社¹、書写、社会(地理的分野²)、数学、英語の各 6 社があげられる。

地図(「東書」,「帝国」)、音楽(一般)(「教出」,「教芸」)、音楽(器楽合奏)(「教出」,「教芸」)、技術・家庭(技術分野)(「東書」,「開隆堂」)、技術・家庭(家庭分野)(「東書」,「開隆堂」)は各 2 社の発行となっている。

ページ数・判型・分冊について

ページ数については B5 判のページ数に換算して比較する(A5 判, AB 判, A4 判のページ数に, それぞれ $2/3$, 1.15 , $4/3$ を掛け, 小数点第 1 位を四捨五入)。

1. ページ数総計について(表 2)

1 点当たりの平均ページ数でみると, 小学校用教科書は 86 ページ, 中学校用教科書は 161 ページで, 小・中教科書用を合わせた平均ページ数は 110 ページである。中学校用教科書は小学校用教科書の 1.9 倍と約 2 倍近くになっている。

2. 種目別ページ数について(表 2)

A 小学校用

種目別の 1 点当たりの平均ページ数でみると, 国語 118 ページ, 書写 39 ページ, 社会 111 ページ, 地図 69 ページ, 算数 98 ページ, 理科 75 ページ, 生活 101 ページ, 音楽 62 ページ, 図工 32 ページ, 家庭 108 ページ, 保健 32 ページである。ページ数の多い上位 3 種目は国語, 社会, 家庭であり, 図工, 保健, 書写が下位 3 種目である。

4 実際は 4 社, 「日文」が 2 種類発行。

5 中学校用教科書目録に登載されている種目は, 国語, 書写, 社会(地理的分野), 社会(歴史的分野), 社会(公民的分野), 地図, 数学, 理科(第一分野), 理科(第二分野), 音楽(一般), 音楽(器楽合奏), 美術, 保健体育, 技術・家庭(技術分野), 技術・家庭(家庭分野), 英語の 16 種目である。

1 実際は 7 社, 「日文」が 2 種類発行。

2 実際は 5 社, 「日文」が 2 種類発行。

B 中学校用

種目別の1点当たりの平均ページ数でみると、国語 271 ページ，書写 54 ページ，社会(地理的分野)237 ページ，社会(歴史的分野)241 ページ，社会(公民的分野)205 ページ，地図 144 ページ，数学 197 ページ，理科(第一分野)140 ページ，理科(第二分野)143 ページ，音楽(一般)80 ページ，音楽(器楽合奏)92 ページ，美術 45 ページ，保健体育 147 ページ，技術・家庭(技術分野)236 ページ，技術・家庭(家庭分野)234 ページ，英語 124 ページである。ページ数の多い上位3種目は，国語，社会(歴史的分野)，社会(地理的分野)であり，美術，書写，音楽(一般)が下位3種目である。

英語は中学校から学習する種目であるが，平均ページ数 124 ページは4番目に少ない。

なお，種目別の小・中学校用教科書のページ数の傾向として，国語，社会は，小・中学校用ともページ数が多く，美術(図工)，書写は小・中学校用ともページ数が少ない。

国語，社会，数学(算数)，理科及び地図については，中学校用教科書のページ数は小学校用教科書の約2倍になっている。

3. 判型について(表3)

現行教科書(小学校用 平成21~22年度使用，中学校用 平成18~21年度使用)では，判型はほとんどB5判になっている。

判型について，小学校用では平成12~13年度使用教科書，中学校用では平成13年度使用教科書からの変化は以下のとおりである。

A 小学校用(表3，表4)

平成12~13年度使用教科書では，A5判の教科書は，国語(4年上から6年下まで6点について5社すべてと1社3年上下の2点，計：6点×5+2=32点)，算数(4年上から6年下まで6点について6社すべて，計：6点×6=36点)の計68点あり，残り225点はすべてB5判である。

平成14~16年度使用教科書では，平成12~13年度使用A5判教科書のうち，国語は5,6年上下1社を除くすべて(28点)，算数は4年上下6社すべて(12点)がB5判に変わっている。したがって，A5判の教科書は40点減って28点と

なり，残り 265 点はすべて B5 判である。

平成 21～22 年度使用教科書では，平成 14～16 年度使用教科書で A5 判であった国語，算数がすべて B5 判になり，A5 判教科書は，1 点もなくなった。また，1 社の社会 3・4 年から 6 年下までの 6 点，2 社の生活 4 点，1 社の家庭 5・6 年 1 点，計 11 点が，B5 判から若干大きい AB 判に変更になっている。

B 中学校用（表 3，表 5）

平成 13 年度使用教科書では A5 判 58 点，B5 判 76 点であったが，平成 14～17 年使用教科書では，社会「地理的分野」，「歴史的分野」，「公民的分野」の教科書（1 社の教科書だけ A5 判のまま）と 1 社の数学 3 点が A5 判から B5 判に変わり，A5 判は 24 点減って 34 点になり，残り 100 点はすべて B5 判である。

平成 18～21 年度使用教科書では，平成 14～17 年使用教科書で A5 判であった国語が 1 社 3 点を除いてすべて B5 判に変わった。したがって，A5 判のものは国語 1 社の 3 点だけとなった。また，美術は 2 社 6 点が，B5 判からひと回り大きいサイズの A4 判に変更になっている。

まとめると，表 3 でわかるように，小学校用は，平成 12～13 年度使用教科書では A5 判が 68 点（23.2%），平成 14～16 年度使用教科書では 28 点（9.6%）となり，平成 21～22 年度使用教科書では A5 判のものは 1 冊もなくなり，その分 B5 判や AB 判が増えている。平成 21～22 年度使用教科書では AB 判（B5 判より左右がひと回り大きい）が 11 点（3.8%）を占めている。

中学校用は，平成 13 年度使用教科書では A5 判 58 点（43.3%），平成 14～17 年使用教科書では A5 判 34 点（25.4%），平成 18～21 年度使用教科書では A5 判は 3 点（2.2%）だけとなり，その分 B5 判や A4 判が増えている。平成 18～21 年度使用教科書では，B5 判よりさらに大きい A4 判が 6 点（4.5%）を占めている。

見やすい紙面構成が好まれることから，教科書の改訂のたびに，大判化が進んでいる。

4 . 教科書の分冊について（表 6）

A 小学校用

総点数 293 点中，1 冊もの（上下巻に分かれていないもの）は 77 点（26.3%），分冊（上下巻に分かれているもの）は上下巻それぞれ 108 点ずつ計 216 点（73.7%）

である。

1冊ものの種目・学年は，書写（1,2,3,4,5,6年），地図（4・5・6年で1冊），算数（1年），理科（3年），音楽（1,2,3,4,5,6年），家庭（5・6年で1冊），保健（3・4年，5・6年で各1冊）である。

分冊ものについては，

（ ） 1学年ごとに上下2分冊のもの

（ ）¹複数の学年にまたがったものでそれが上下2分冊のもの

の2種類がある。

（ ）に属する種目・学年は，国語（1,2,3,4,5,6年），社会（5,6年），算数（2,3,4,5,6年），理科（4,5,6年）である。ただし理科は1社だけ，4,5,6年が各1冊ものになっている。

（ ）に属する種目・学年は，社会（3・4年），生活（1・2年），図工（1・2年，3・4年，5・6年）である。

B 中学校用

総点数134点中，1冊もの104点（77.6%），分冊ものは上下巻それぞれ15点計30点（22.4%）で，中学になると1冊ものが圧倒的に多くなる。

1冊ものの種目・学年は，国語（1,2,3年），書写（1年，2・3年で各1冊），社会（地理的分野）（1・2年で1冊），社会（歴史的分野）（1・2年で1冊），社会（公民的分野）（3年），地図（1・2・3年で1冊），数学（1,2,3年），音楽（一般）（1年），音楽（器楽合奏）（1・2・3年で1冊），美術（1年），保健体育（1・2・3年で1冊），技術・家庭（技術分野）（1・2・3年で1冊），技術・家庭（家庭分野）（1・2・3年で1冊），英語（1,2,3年）である。

分冊ものについてはすべて（ ）に属するもので，その種目・学年は理科[(第一分野)上1・2年，理科(第一分野)下2・3年，理科(第二分野)上1・2年，理科(第二分野)下2・3年で各1冊]，音楽（一般）（2・3年），美術（2・3年）である。

なお，小中合計では，1冊ものの割合は42.4%，分冊は57.6%である。

1（ ）に属するものは，学年ごとにみると1冊ものともいえるが，上下巻に分かれていますので，ここでは分冊とみなして分析した。

5 . 各種目別点数・判型・ページ数について（表7）

A 小学校用

(1) 国語

国語は5社60点，判型はすべての学年でB5判である。ほとんどの発行者とも学年が上がるとともにページ数が増えている（一部の例外がある）。一番薄いものは92ページ，一番厚いものは148ページである。

(2) 書写

書写は5社30点，判型は1社6点だけB5変型判であり，残り4社24点はすべてB5判である。一番薄いものは32ページ，一番厚いものは44ページである。

(3) 社会

小学校では，平成元年3月の学習指導要領改訂から，社会，理科の1，2年がなくなり，新たに教科「生活」が設けられ，社会は3年生から学習することになった。

社会は5社¹30点，判型は4社24点がB5判，1社6点はAB判である。

一番薄いものは60ページ，一番厚いものは166ページであり，学年によってページ数にかなりの差異がある。

(4) 地図

地図は2社2点，判型はともにB5判で，ページ数は66，72ページである。

(5) 算数

算数は6社66点，判型はすべてB5判である。1年用（1冊もの）では一番薄いものは112ページ，一番厚いものは128ページである。また，2,3,4,5,6年用（分冊もの）では一番薄いものは68ページ，一番厚いものは124ページである。

(6) 理科

平成元年3月の学習指導要領改訂から，社会，理科の1，2年がなくなり，新たに教科「生活」が設けられ，理科は3年生から学習することになった。

理科は6社39点，判型はすべてB5判である。3年用（1冊もの）では一番薄いものは76ページ，一番厚いものは116ページである。また，4,5,6年用（1社3点だけ1冊もので，他の5社30点は上下2分冊に分かれている）では一番薄いものは36ページ，一番厚いものは118ページと，発行者によりかなりばらつきがある

1 実際は4社，「日文」が2種類発行。

(1社の4,5,6年の1冊ものは除く)

(7) 生活

生活は9社¹18点,判型は7社14点がB5判,2社4点がAB判である。一番薄いものは52ページ,一番厚いものは156ページであり,分冊のしかたや発行者によりばらつきがある。

(8) 音楽

音楽は3社18点,判型は1社6点だけB5変型判で,残り2社12点はB5判である。一番薄いものは60ページ,一番厚いものは66ページである。

(9) 図画工作

図画工作は3社18点,1社6点だけB5変型判で,残り2社12点はB5判である。ページ数はすべて32ページである。

(10) 家庭

家庭は2社2点,判型はB5判,AB判で,ページ数は100ページ,115ページである。

(11) 保健

保健は5社10点,判型はすべてB5判で,3・4年用は24ページ,26ページのどちらかで,5・6年用はすべて40ページである。

B 中学校用(表8)

(1) 国語

国語は5社15点,判型は1社3点だけA5判で,残り4社12点はB5判である。一番薄いものは233ページ,一番厚いものは320ページである。学年があがるごとに,ページ数が増えていくとはいえない。

(2) 書写

書写は6社12点,1社2点だけB5変型判で,残り5社10点すべてB5判である。一番薄いものは42ページ,一番厚いものは62ページである。

(3) 社会(地理的分野)

中学校になると,社会は「地理的分野」,「歴史的分野」,「公民的分野」に分かれる。

1 実際は8社,「日文」が2種類発行。

地理的分野は 6 社¹6 点，判型はすべて B5 判である。一番薄いものは 200 ページ，一番厚いものは 264 ページである。

(4) 社会(歴史的分野)

歴史的分野は 8 社²8 点，判型はすべて B5 判である。一番薄いものは 222 ページ，一番厚いものは 260 ページである。

(5) 社会(公民的分野)

公民的分野は 8 社³8 点であり，判型はすべて B5 判である。一番薄いものは 192 ページ，一番厚いものは 222 ページである。

(6) 地図

地図は 2 社 2 点，判型はともに B5 判，ページ数はともに 144 ページである。

(7) 数学

数学は 6 社 7 種⁴21 点で，「啓林館」が 2 種類発行している。判型はすべて B5 判である。一番薄いのは 182 ページで，一番厚いものは 214 ページである。

(8) 理科(第一分野)

中学校では，理科は「第一分野」，「第二分野」に分かれている。

理科(第一分野)は 5 社が 2 点ずつ，合計 10 点を発行している。判型は 1 社 2 点だけ B5 変型判で，残り 4 社 8 点は B5 判である。一番薄いものは 122 ページ，一番厚いものは 164 ページである。

(9) 理科(第二分野)

理科(第二分野)は 5 社が 2 点ずつ，合計 10 点を発行している。判型は 1 社 2 点だけ B5 変型判で，残り 4 社 8 点は B5 判である。一番薄いものは 134 ページ，一番厚いものは 154 ページである。

(10) 音楽(一般)

音楽は「一般」，「器楽合奏」に分かれている。

音楽(一般)は 2 社 6 点で，判型はすべて B5 判である。ページ数は 76，84 ページのいずれかである。

1 実際は 5 社，「日文」が 2 種類発行。

2 実際は 7 社，「日文」が 2 種類発行。

3 実際は 7 社，「日文」が 2 種類発行。

4 種とは，同一種目中の発行教科書の種類を表す。同一発行者が 1 種類を発行した場合は 1 社 1 種，2 種類を発行した場合は 1 社 2 種となる。

(11) 音楽(器楽合奏)

音楽(器楽合奏)は2社2点で、判型はともにB5判である。ページ数はともに92ページである。

(12) 美術

美術は3社9点で、判型は2社6点が他種目にみられないA4判で、1社3点がB5判になっており、種目の特性(図版中心の科目)を生かすため、大判が主流になっている。一番薄いものは32ページ、一番厚いものは53ページである。

(13) 保健体育

保健体育は3社3点、判型はすべてB5判、一番薄いのは140ページ、一番厚いのは152ページである。

(14) 技術・家庭(技術分野)

技術・家庭は「技術分野」、「家庭分野」に分かれている。

技術分野は2社2点、判型はすべてB5判、ページ数は228、244ページである。

(15) 技術・家庭(家庭分野)

家庭分野は2社2点、判型はすべてB5判、ページ数は232、236ページである。

(16) 外国語

外国語は6社18点、判型はすべてB5判、一番薄いものは116ページ、一番厚いものは132ページである。

教科書の重さ¹について

1. 総計(表2)

小学校用教科書の1点当たりの平均の重さは198g、中学校用教科書の1点当たりの平均の重さは342gである。平均の重さは、中学校用教科書は小学校用教科書の1.7倍強となっている。

1 教科書の重さについては、分冊になっている場合、分冊1点ごとの重さで比較するものとする。

2 . 種目別（全体）について（表2）

A 小学校用

1点当たりの平均の重さは国語 251 g , 書写 96 g , 社会 238 g , 地図 210 g , 算数 219 g , 理科 188 g , 生活 242 g , 音楽 145 g , 図工 133 g , 家庭 220 g , 保健 93 g である。平均の重さは , 国語 , 生活 , 社会の 3 種目が上位であり , 保健 , 書写 , 図工の 3 種目が下位である。

B 中学校用

1点当たりの平均の重さは国語 508 g , 書写 126 g , 社会(地理的分野) 489 g , 社会(歴史的分野)504 g , 社会(公民的分野)416 g , 地図 380 g , 数学 400 g , 理科(第一分野) 323 g , 理科(第二分野) 333 g , 音楽(一般)163 g , 音楽(器楽合奏)180g , 美術 164 g , 保健体育 337 g , 技術・家庭(技術分野)505 g , 技術・家庭(家庭分野)470 g , 英語 271 g となっている。平均の重さは , 国語 , 技術・家庭(技術分野) , 社会(歴史的分野)の 3 種目が上位であり , 書写 , 音楽(一般) , 美術の 3 種目が下位である。

3 . 各種目別（個別）について

A 小学校用(表9)

(1) 国語

国語は , 一番軽いものは 200 g , 一番重いものは 333 g である。一番重いものは一番軽いものの 1.7 倍となっている。

(2) 書写

書写は , 一番軽いものは 80 g , 一番重いものは 110 g である。一番重いものは一番軽いものの 1.4 倍となっている。

(3) 社会

社会は , 一番軽いものは 135 g , 一番重いものは 340 g である。一番重いものは一番軽いものの 2.5 倍となっている。

(4) 地図

地図は 2 社 2 点で , 重さは 200 g , 220 g である。一番重いものは一番軽いものの 1.1 倍となっている。

(5) 算数

算数は、一番軽いものは 150 g , 一番重いものは 291 g である。一番重いものは一番軽いものの 1.9 倍となっている。

(6) 理科

理科は、一番軽いものは 100 g , 一番重いものは 342 g である。一番重いものは一番軽いものの 3.4 倍となっている。ただし、1 社の 4,5,6 年は 1 冊ものであるのに対し、それ以外の 5 社はすべて上下 2 分冊なので、1 冊ものが一番重いものになっている。当然のことながら、重さは 2 倍近くになっている。

(7) 生活

生活は、一番軽いものは 130 g , 一番重いものは 350 g である。一番重いものは一番軽いものの 2.7 倍となっている。判型の違い、上下巻のページ数のバランスから、差が大きくなっている。

(8) 音楽

音楽は、重さは 140g , 150g のどちらかである。重いものは軽いものの 1.1 倍となっている。

(9) 図画工作

図画工作は、重さは 130 g , 140 g のどちらかである。重いものは軽いものの 1.1 倍となっている。

(10) 家庭

家庭は 2 社 2 点で、重さは 190 , 250 g である。重いものは軽いものの 1.3 倍となっている。

(11) 保健

保健は、一番軽いものは 65 g , 一番重いものは 120 g である。一番重いものは一番軽いものの 1.8 倍となっている。

B 中学校用 (表 1 0)

(1) 国語

国語は、一番軽いものは 438 g , 一番重いものは 565 g である。一番重いものは一番軽いものの 1.3 倍となっている。

(2) 書写

書写は、一番軽いものは 100 g , 一番重いものは 145 g である。一番重いもの

が一番軽いものの1.5倍となっている。

(3) 社会(地理的分野)

地理的分野は、一番軽いものは440g、一番重いものは533gである。一番重いものは一番軽いものの1.2倍となっている。

(4) 社会(歴史的分野)

歴史的分野は、一番軽いものは425g、一番重いものは550gである。一番重いものは一番軽いものの1.3倍となっている。

(5) 社会(公民的分野)

公民的分野は、一番軽いものは360g、一番重いものは450gである。一番重いものは一番軽いものの1.3倍となっている。

(6) 地図

地図は2社2点で、重さはともに380gである。

(7) 数学

数学は、一番軽いものは345g、一番重いものは455gである。一番重いものは一番軽いものの1.3倍となっている。

(8) 理科(第一分野)

理科(第一分野)は、一番軽いものは261g、一番重いものは370gである。一番重いものは一番軽いものの1.4倍となっている。

(9) 理科(第二分野)

理科(第二分野)は、一番軽いものは293g、一番重いものは365gである。一番重いものは一番軽いものの1.2倍となっている。

(10) 音楽(音楽)

音楽(一般)は、重さは155g、170gのいずれかである。一番重いものは一番軽いものの1.1倍となっている。

(11) 音楽(器楽合奏)

音楽(器楽合奏)は2社2点で、重さはともに180gである。

(12) 美術

美術は、一番軽いものは145g、一番重いものは175gある。一番重いものは一番軽いものの1.2倍となっている。

(13) 保健体育

保健体育は3社3点で、重さは320g、330g、360gである。一番重いものは一

番軽いものの1.1倍となっている。

(14) 技術・家庭(技術分野)

技術分野は2社2点で、重さは450g,560gである。重いものは軽いものの1.2倍となっている。

(15) 技術・家庭(家庭分野)

家庭分野は2社2点で、重さは450g,490gである。重いものは軽いものの1.1倍となっている。

(16) 英語

英語は、一番軽いものは250g、一番重いものは295gである。一番重いものは一番軽いものの1.1倍となっている。

カラーページの割合(表11, 12)

表11(小学校用教科書)、表12(中学校用教科書)からわかるように、1ページ単位でみると一部カラー(4色)印刷でないものもあるが、小学校用・中学校用の教科書とも、ほぼカラー印刷であるといえる。「体様のめやす」¹が自由化された小学校用では平成14~16年度使用教科書、中学校用では平成14年~17年使用教科書から、一気にカラー印刷化が進んだ。

文字の大きさ

A 小学校用(表11)

小学校用の本文の文字の大きさの比較については、1・2年(低学年)、3・4年(中学年)、5・6年(高学年)の3つに分けて分析する。

(1) 国語

低学年では、一番小さいものは15ポイント²、大きいものは22.8p、中学年では一番小さいものは14p、一番大きいものは17.8p、高学年では一番小さい

1 学習指導要領のねらいを達成し、不必要な造本上の競争を避けて内容の充実を期すために、ページ数、カラーページの割合、製本様式等(体様という)を「めやす」として、社団法人教科書協会が財団法人教科書研究センターに依頼してまとめたもの。

2 1ポイント=0.3514ミリメートル。これ以降、ポイントは「p」と書くことにする。

ものは 11 p , 一番大きいものは 15.7 p である。学年別の平均の文字の大きさは 21.4 p (1 年) , 18.7 p (2 年) , 16.4 p (3 年) , 15.9 p (4 年) , 14.1 p (5,6 年) となっている。

(2) 書写

低・中学年とも , 一番小さいものは 13 p , 一番大きいものは 20 p , 高学年では , 一番小さいものは 13 p , 一番大きいものは 17 p である。学年別の平均の文字の大きさは 17.7 p (1 年) , 17.5 p (2 年) , 15.3 p (3,4 年) , 14.8 p (5,6 年) となっている。

(3) 社会

中学年では , 一番小さいものは 15 p , 一番大きいものは 17.1 p , 高学年では , 14 p と 14.2 p の 2 種類だけである。学年別の平均の文字の大きさは , 16.4 p (3・4 年) , 14.1 p (5,6 年) となっている。

(4) 地図

地図は 2 社 2 点 , 1 点の文字の大きさは 11 p , 他の 1 点はいろいろな大きさの文字を多用しており , 本文の大きさについては特定できない。

(5) 算数

低学年では一番小さいものは 15.7 p , 一番大きいものは 20 p , 中学年では一番小さいものは 12.8 p , 一番大きいものは 15.7 p , 高学年では一番小さいものは 12.1 p , 一番大きいものは 14.2 p である。学年別平均の文字の大きさは 19.9 p (1 年) , 16.8 p (2 年) , 14.9 p (3 年) , 14.2 p (4 年) , 13.1 p (5,6 年) となっている。

(6) 理科

中学年では , 一番小さいものは 12.8 p , 一番大きいものは 17.1 p , 高学年では , 一番小さいものは 12.8 p , 一番大きいものは 14.2 p である。学年別平均の文字の大きさは 15.7 p (3 年) , 15.2 p (4 年) , 13.7 p (5,6 年) となっている。

(7) 生活

生活は , 一番小さいものは 16 p , 一番大きいものは 35.6 p , 平均の文字の大きさは 25.1 p である。

(8) 音楽

低学年では 14 , 14.2 p の 2 種類 , 中学年では , 一番小さいものは 12 p , 一番大きいものは 14 p , 高学年では , 一番小さいものは 10.5 p , 一番大きいものは

14 p である。学年別平均の文字の大きさは 14.1 p (1,2 年) ,12.9 p (3,4 年) ,12.0 p (5,6 年)となっている。

(9) 図画工作

低学年では一番小さいものは 10.5 p ,一番大きいものは 12 p ,中学年では一番小さいものは 10 p ,一番大きいものは 12 p ,高学年では一番小さいものは 9 p ,一番大きいものは 12 p である。学年別平均の大きさは 11.2 p (1・2 年) ,10.8 p (3・4 年) , 10.3 p (5・6 年)となっている。

(10) 家庭

家庭は 2 社 2 点で , 12 p ,14 p のいずれかの大きさである。

(11) 保健

中学年では ,一番小さいものは 11.4 p ,一番大きいものは 20 p ,高学年では ,一番小さいものは 11.4 p ,一番大きいものは 18 p である。学年別平均の文字の大きさは 14.6 p (3・4 年) , 13.7 p (5・6 年)となっている。

B 中学校用 (表 1 2)

中学校では , 小学校の低・中・高学年のように , 学年による文字の大きさの差異はないので , 1 年から 3 年を一括して分析する。

(1) 国語

国語は , 一番小さいものは 11 p , 一番大きいものは 12 p で , 平均の文字の大きさは 11.6 p である。

(2) 書写

書写は , 一番小さいものは 9.9 p , 一番大きいものは 12 p で , 平均の文字の大きさは 11.1 p である。

(3) 社会(地理的分野)

地理的分野は , 一番小さいものは 10.5 p , 一番大きいものは 11.4 p , 平均の文字の大きさは 10.9 p である。

(4) 社会(歴史的分野)

歴史的分野は , 一番小さいものは 10.5 p , 一番大きいものは 12 p , 平均の文字の大きさは 11.0 p である。

(5) 社会(公民的分野)

公民的分野は , 一番小さいものは 10.5 p , 一番大きいものは 12 p , 平均の文

字の大きさは 10.9 p である。

(6) 地図

地図は 2 社 2 点，1 点の文字の大きさは 12 p ，他の 1 点はいろいろな大きさの文字を多用しており，本文の大きさについては特定できない。

(7) 数学

数学は，一番小さいものは 10.6 p ，一番大きいものは 11.4 p で，平均の文字の大きさは 11.1 p である。

(8) 理科(第一分野)

理科(第一分野)は，一番小さいものは 11 p ，一番大きいものは 11.7 p で，平均の文字の大きさは 11.3 p である。

(9) 理科(第二分野)

理科(第二分野)は，一番小さいものは 11 p ，一番大きいものは 11.7 p で，平均の文字の大きさは 11.3 p である。

(10) 音楽(一般)

音楽(一般)は，9.2 p ，10 p のいずれかの大きさである。

(11) 音楽(器楽合奏)

音楽(器楽合奏)は 2 社 2 点で，いずれも 10 p の大きさである。

(12) 美術

美術は，一番小さいものは 9 p ，一番大きいものは 10 p で，平均の文字の大きさは 9.4 p である。

(13) 保健体育

保健体育は，11.3 p ，11.4 p のいずれかの大きさである。

(14) 技術・家庭(技術分野)

技術・家庭(技術分野)は，11 p ，11.3 p のいずれかの大きさである。

(15) 技術・家庭(家庭分野)

技術・家庭(家庭分野)は，11 p ，11.3 p のいずれかの大きさである。

(16) 英語

英語は一番小さいものは 13.5 p ，一番大きいものは 24 p で，平均の文字の大きさは 16.2 p であるが，発行者ごとに大きな差異がみられる。

紙質について

現在，使用している紙質別の点数と割合は，表 13 の通りである。

小学校用では，上質紙 117 点(39.9%)，中質紙 130 点(44.4%)，コート紙 46 点(15.7%)を使用している。中学校用では，上質紙 32 点(23.9%)，中質紙 75 点(56.0%)，コート紙 27 点(20.1%)を使用している。小学校用が中学校用に比べて，中質紙より上質紙を使用している割合が高い。

小・中学校用計では，上質紙 149 点(34.9%)，中質紙 205 点(48.0%)，コート紙 73 点(17.1%)である。

表 13 使用している紙質別の点数と割合（単位：点（ ）内は割合）

	小学校用	中学校用	小・中用計
上質紙	117 (39.9%)	32 (23.9%)	149 (34.9%)
中質紙	130 (44.4%)	75 (56.0%)	205 (48.0%)
コート紙	46 (15.7%)	27 (20.1%)	73 (17.1%)
計	293(100.0%)	134(100.0%)	427(100.0%)

使用活字書体について（表 1 4 ， 1 5 ）

表 14 から小学校用では，使用活字の書体の割合は教科書体¹(257 点，87.7%)が圧倒的に多く，ゴシック体（24 点，8.2 %），明朝体（10 点，3.4 %），手書き文字 1 社(2 点，0.7 %)である。

教科書体といっても種類が多く，独自に自社用に作ったものを使用したり，メーカーから提供されている書体を，特色を出すために，工夫して使用したりしている。

表 15 から中学校用では，日本語の文章についてはすべて明朝体²を使用している。明朝体も種類が豊富で，独自に自社用に作ったものを使用したり，メー

-
- 1 教科書体は，「小学校学習指導要領 国語」の「別表 学年別漢字配当表」にある漢字書体にしたがって作られ，主として小学校の児童が筆写の手本にできるように工夫された，より手書き文字に近い書体で，「書く立場から作られた活字書体」ともいえる。
 - 2 明朝体は，新聞や一般書籍の活字として日常目にすることが多い書体で，読みやすさを主眼においてデザインされた書体。

カーから提供されている書体を，特色を出すために，工夫して使用したりしている。

色覚特性など障害その他の特性に配慮した取り組みについて

色覚特性に関する専門家による校閲や眼科医による校閲による指摘に基づいて修正したり，また冊子「色覚に関する指導の資料」(平成 15 年 5 月，文部科学省)などを参考にして，各社とも教科書編集に取り組んでいる。

また，平成 19 年 7 月 11 日には，(社)教科書協会主催編集研修会において，
演題 「その色，伝わりやすく表示されていますか 教科書編集におけるユニバーサルデザインについて 」

講師 伊賀公一氏 (NPO 法人「カラーユニバーサルデザイン機構 (CUDO) 」)
の講習会を開催し，全会員へ啓蒙を行った。

各発行者においては，色覚特性に関する講習会に以前から取り組んでいた会社や協会主催の研修会開催後に，改めて自社で講習会を開催した会社もあるなど，積極的に取り組んでいる。

なお，69～78 ページに，実際の教科書編集上における色覚特性など障害その他の特性に配慮した取り組みについて，代表例を紹介する。

色覚特性など障害その他の特性に配慮した取り組みについて

- (1) 色による表示だけでなく，色について文字でも表す例
- (2) 地図の例
- (3) 墨色の文字や白抜き文字を使用したり，背景に色，斜線，点などを付けたり，囲みの形を変えたりする例
- (4) 輪郭をはっきりさせる例